

日本アロマコーディネーター協会
チャイルドケア本部 MC会報誌

Peeka Boo

ピーカーブー

2009年2月25日発行

No. 21

アメリカでは、建国以来初めてのアフリカ系アメリカ人の大統領が誕生しました。この大きなニュースに、世界中が注目し話題になっていることは、皆さんもご存じのことでしょう。その第44代アメリカ合衆国大統領バラク・オバマ氏のスピーチは、アメリカ国民ではなくとも心を打つものがあり、それもまた話題になっています。今や流行語のように語られる「change! (変わろう!)」「Yes, we can! (私たちはできる!)」のメッセージは、アメリカ国民だけではなく、世界中の人々へのメッセージともとれるものです。

世界的な大不況の影響で、私たちの生活にも大きく影響していることは、ニュースを知らなくても、すでに日々の生活の中でも感じられていることと思います。

こうした社会的な影響は、日々の生活だけではなく、子どもたちのための健全な社会を築くうえでも、厳しい影響が起こってくることでしよう。

とはいえ、我が国はまだまだ恵まれている国であると思います。豊かになりすぎてしまったことで私たちの価値観が変わってしまったことに気づかねばなりません。たとえば、日本は、世界の残飯大国といわれ、1年間で2,160万トンもの食料が捨てられているそうです。一方では、世界で飢餓、あるいは飢餓関連で亡くなっている人の数は、国連によると、毎日25,000人にも上っています。

この現実をしっかりと認識されていた方はど

のくらいいらっしゃるでしょうか。人は、豊かになっていく一方で何かを失うだけではなく、何か甘んじてしまう弱さも持つてしまうのかもしれない。

今は、いろいろと大変な時期にさしかかっ

Change!!

……まずは自分から……



ていますが、まさにピンチがチャンスになるときでもあるのです。こうした状況だからこそ、生活を振り返り、家族が結束し、家庭の力を向上させていくことができるのです。お金で買えない価値がある。とテレビコマーシャルでも言われていますが、まさにその価値の見直しに来ていると思います。

チャイルドケアでは、この見直しとして3つのキーワードを提案したいと思います。

そのひとつ目が「家族」です。家族一人一人の役割分担をもち、責任と遂行する力をつけましょう。2番目が「家」です。家を掃除したり、家で過ごすことの価値観を見出すことは、家族を意識し、家という安全で安心する場所を再認識することになります。

そして3番目が「家庭」です。家庭とは、家族だけのものではありません。家族が「社会」と関わるための基本の集合体であり、基本の価値観を養うものであり、コミュニケーションの輪を広げていくための軸となるものです。

人間の健康が「心」と「体」と「魂」の三位一体であるならば、それを向上し、豊かにしていくものが「家族」と「家」と「家庭」であると思います。

「change (変わる)」ということとは、外側の社会や環境が変わるということではなく、自らの意識を変えなければ何も変わりません。まず、小さなことから、気持ちを切り替え行動していきましょう。

誰かのせいにして愚痴を言うことよりも、世の中が悪いからといひ訳することよりも、自分の気持ちを変えて行動してみましょう。それが「パワー」です。自然療法とは、自然のアイテムを使うことだけではなく、自らの力を引き上げることでありますから。

チャイルドケアも時代とともに「change」していく勇気を持ち、誰もが「Yes I can!」と自信を持っていただけるように活動していきたいと思っています。

チャイルドケア講師 松本 美佳

「チャイルドケア」は、家族、生活、 命、地球 を考える永遠の課題

松本安彦

チャイルドケア監修



松本美佳

チャイルドケア講師

JAAチャイルドケアホームワーク講座は、来年10年目を迎えることとなります。今年は、大きな節目を前にした大切な年となります。今までを振り返るとともに、これからの新たなチャイルドケアの方向性となる指標を示すことになりました。そこで、一つの節目を迎える前に、監修者である松本安彦先生と講師である松本美佳先生ご夫妻に、改めて「チャイルドケア」を語っていただくことにいたしました。ご存じのとおり、本講座は、松本先生ご夫妻の実際の育児スタイルが基本となり、体系づけたものになっています。

お二人のお子様もこの春には、大学生と高校生になられ、ご夫妻も結婚20周年を迎えられるそうです。

ご夫妻にとっての、ご自身の「チャイルドケア」、また本講座での「チャイルドケア」について語っていただきました。
(CC本部)



「チャイルドケア」の 誕生のいきさつは？

松本美佳 (以下：美佳) 私たちは、結婚するときに夫婦になるというよりも、「家族」になるということを前提にしていたんです。だから、今年は家族の20周年を迎える年なんです。

松本安彦 (以下：安彦) 僕は、結婚するとき彼女のお父さんになるうっと思っただけだったから。(笑) 奥さんというよりは、結婚した時点で僕は子育てを始めていた気がします。(笑)

美佳 私は、仕事で忙しかったし、仕事をしている私も認められていたので、いろいろな意味で大らかに見てもらっていた気がします。(笑)

安彦 でも、子どもが誕生したことで、その意識が大きく変わったと思いますね。新しい家族の誕生で責任感も倍増し、これから母親として育児に参加する彼女の方が、絶対的に大変だと思ったから、何とか支えないと、って必死でしたね。

美佳 とにかく、子育ては初めてのことで想像もつかないものだったうえ、小さなわが子をどうした

らしいものかと、必死でしたが、辛いことよりも喜びが多かったですね。子どもの将来や先のことを考える余裕もなかったので、それが幸いだったのか、子どもの「今」を大事に日々過ごしていたことが良かったのだと思います。彼も仕事で大変だったけれど、育児や家事に積極的に協力してくれ、何よりも子どもにとっても興味をもっていましたね。

安彦 それはそうですね。自分で産んだ奥さんは、何か実感があるのかもしれないけど、自分は、ただそのまんま親になってしまったから、何をどうしたら父親なんだろう？と考えたりして。だけど、今まで感じたことのない愛情が自分の中に沸き起こるんですね。何があっても絶対に守ってあげたいと心から思えた。父親にも母性的な思いはあると思いたね。

美佳 小児はりや、マッサージも日々積極的にやっていたのは、彼でした。アロマセラピーを勧めてくれたのも彼です。

安彦 まだアロマセラピーなんて言葉さえも聞いたことがない頃、業界紙に小さく記事が載っていたんです。嗅覚を利用したケアがそれまでなかったから、これは絶対にいいものだって直観しました。でも、香りってとても女性的な感じがしたので、感性がするどい彼女が学ぶといいとも感じました。それと、育児だけじゃなくて、何か別の目標ができると育児にもいい影響があると思ったんですね。

美佳 香りがもともと好きだったから、自分も楽しみながら取り組めたんですね。今でこそ、学校や本もたくさんありますが、その頃は、まったくなくて、翻訳された本が1、2冊しかない時代でした。だから独学で生活の中で日々試していました。

安彦 でも、まさか僕らの経験が、このような講座になって広がるとは思いもしませんでした。

美佳 人生とは、何がどうなるかはわからないものです。(笑)自分が経験して良かったものは、やはり誰かに伝えたいと思うものです。編集者だったこともあり、それをどう伝えれば皆が興味を持ってくれるかというのは、職業的に形にしやすいのかもしれません。それと、周りを見ていて、子どもの可愛い時期を楽しんでいないお母さんが多いことに、何とかしたいって思ったんです。良い子育てをすることにとらわれて、「今」の素敵な時間を上手に使えていないんじゃないかって。自然療法は、生活に取り入れることができるものが多いし、ちょっとした知恵で楽しく活かせることができるので、これを伝えたいと思ったのが始まりです。ベビーケアではなく、チャイルドケアにしたのは、ベビーの時



期は短すぎるから。チャイルドって枠を広げると、子育ての期間は、思っていた以上に長くケアが必要なことに気づいてもらえるし、だからこそ、その長い期間を楽しもうよ！って。

安彦 思ったことを形にするのは、彼女は本当に得意ですね。感心します。そのための努力もしているし、チャイルドケアが立ちあがってから月日がたち、内容もずいぶん広い分野にわたってきているので、客観的に見ていて、すごいなぁと感じています。受講生の方とともに、チャイルドケアを捉え、共に成長しているのでしょう。



フロフイール
松本 安彦 先生

自然療法治療室 松本鍼灸接骨院
院長。チャイルドケア講座監修。
祖父、父ともに鍼灸師、母は指圧
師という治療一家の中で育ち、人
間の自ら治る自己治癒力に興味を
もつ。平成9年に東京・大田区で
開業する際には、従来の接骨院の
スタイルを変えるために、アロマ
セラピーなどの自然療法を積極的
に取り入れる。自身の子どもの誕
生により、小児はりや小児マッサ
ージなどにも積極的に取り入れ、
地域の子供のケアをサポートして
いる。乳幼児のケアから高齢者の
ケアまでの「生きる力」を活性さ
せることに日々を費やしている。

美佳 まさにその通り。皆さん
とともにチャイルドケアを考える機
会を与えていただき、常にその時
代のニーズを考え、共感しながら
取り組むようにしています。3年前
にもう少し専門的に捉えようと
思っただけで大学にも入りました。チャ
イルドケアを提案していなければ、こ
こまで深めて学ぶことはなかったで
しょう。ともに学び、考え、感じ
て、思う。この繰り返しが、チャ
イルドケアの成長であり、自己成
長になっているように思います。

安彦 でも僕は、彼女が自分
でいいというものを流さず、生
活にしっかり根付かせてきたこと

が、何よりも周りに認めてもらえたのではないかと
思います。理屈を並べるより、自分の子どもの元
気をみせてあげれば、言葉よりも説得力がありますか
らね。おかげさまで、二人の子どもは、順調に元
気に成長し、いい子に育っていますよ(笑)

.....
「チャイルドケア」の講座の
目的は何でしょうか？
.....

美佳 当初チャイルドケアは、ただ「育児をも
っと楽しもう！」というカジュアルな発想でした。で
も、実際に楽しむということは、興味がないとでき
ません。興味があると、いろいろ観察したり、その
関係性に気づいたり、視野が広がり、さまざまな社
会問題などの背景が見えてきたのです。私自身も実
際の子育ての中で、つまづいたり、悩み、考える経
験を重ねたことで、実際に乗り越えてきた課題がた
くさんあるのです。つまりチャイルドケアは、私の
子育てとともに、一緒に成長してきたものでもあり
ます。そこでいえることは、生きている流れの中
で生かされている命を、どう感じ調和させていくか

「ケア」であると思えるようになったのです。

安彦 彼女は、いつも体当たりですからね。痛い
思いもしていると思います。(笑)でも、子ども
のことは、夫婦でよく話し合うことをしてきたと思
います。そのときに表面的な体裁で話をまとめるの
ではなく、僕たちでできることは何かということ考
えてきました。子どもの成長で悩んだ時も、今は悩
んでいるけれど、時間をかけることで解決するなら
ば、僕たちは時間をかけようとか、子どもが笑顔で
あるならば、それを守るだけでいいとか。子どもた
ちの良い所だけを夫婦でみていければいいんじや
ないかと。僕は、子育ての詳しいことは、正直わか
らないし、幼稚園のことや学校のことにも彼女に任
せっきりで、ほとんど行事やイベントにも仕事で参
加したことがないんですけど、家族としてどう生き
ていくか、どんなふうを支え合うかというようなこ
ろでは、話し合うことをしてきま

した。直接的な育児がで
きる機会がないのが男
親ですが、間接的な
ところでは、育児参
加はしていこうと思
っていました。僕に
とってチャイルドケア
は、母子だけのものでは



いいし、親子だけとも限らない。夫婦
でともに築き上げるものだから、相手を信頼したり、
敬いながら行っていくことが基本にあると思います
ね。

美佳 チャイルドケアとは、子どものことだけ
じゃなくて、家族のことや家族としての集合体が、社
会でどういうものであるかを考えることでもあります。
「より良く生きるために」という最大のテーマ
があるように思います。さらに、受け継がれる命の
ロマンなどを感じていただければうれしいですね。私
自身も、チャイルドケアって、なんて奥が深いのか
しらって自画自賛してますから(笑)

安彦 僕たちもまだまだ未熟です。でも未熟だから気づけたことわかったこと、感じられたことがあったんですね。それを素直に形にしたことが、共感されているのではないかと思います。チャイルドケアは、特別なことではなく、皆が感じられる「心」でみていくことが理解されたのでしょうか。

.....
**これからの「チャイルドケア」は
どのような展開がありますか？**
.....

美佳 二人の子が、この春大学生と高校生になり、思春期も後半となってきました。大人の入口に立った彼らと大人同士で語ることもあります。子どもという枠を超えつつあるので



す。手をかける子育てではありませんが、大人として、社会人の先輩としてこれから彼らに何を伝えるべきかなど考えるようになりました。そのときに大人の役割や責任をし

っかり彼らに伝えていくことだと感じています。これもチャイルドケアの範疇です。また、当然、私の親も高齢者になり介護を家族の中で考えていく必要があります。介護そのものは、専門家にゆだねることですが、介護が必要になってから考えるのではなく、老いるということを家族の中で考えていかなければいけないと思っています。私自身、チャイルドケアは、一つ屋根の下にある家族全員のケアを目標にしています。ひとつの命の誕生から、その命を全うするまでの家族のケアがチャイルドケアのステージだと捉えています。大変な課題がまだあるんです。

安彦 「家族」という形態が崩壊していることは一つの社会問題です。チャイルドケアは、そうした社会問題に対して、何かアクションを起こして、家

族の力を見直していこうということなんです。コミュニケーションの崩壊は、その基本にある「家族」を見直すことが大切なんです。

.....
**最後に、お二人から受講生の
皆さんにメッセージはありますか？**
.....

安彦 夫婦で、家族で褒め合うことです。褒められていやな気持ちがある人はいません。比較するから文句も言いたくなるし、嫌な部分が見えてしまうんです。ご主人でも、奥さんでも、お子さんでも、他人に笑われるようなことでもいいから、家族で褒め合う、称えあうことって大切だと思います。自分以外の存在を尊敬し、感謝し、認めることが、人間関係の基本だと思っています。それと多くを求めない。「今」を受け入れること。そこから「先」を見れば、無理をしなくなります。

美佳 チャイルドケアは、皆で支え合い高めていくものだと思います。私が教えているわけではなく、一緒に考えていくことに意義があると思います。完璧な存在同士ではなく、未熟同士だから支え合い助け合うことができる。ときどきヘンテコになっても共に笑って流せばいいんです。そんなふうに笑顔の絶えない活動を目指したいです。そして常に時代に合わせたケアのありかたも柔軟に取り組んでいきたいと思っています。

CC本部：ありがとうございました。安彦先生は、春のスクーリングスキルアップ講座では、講師として講座を担当されます。ご夫妻での講義は、チャイルドケア講座発足以来となります。ぜひ、皆さんもこの機会にスクーリングに足を運ばれてください。



CCC個人活動報告

CCCを取得し、個人活動に励んでいるメンバーをご紹介します！



CCC 高橋 明子さん

千葉県千葉市在住。現在10才・6才・3才の娘の育児中。自宅でもできる仕事を考え、アロマやチャイルドケアを学び、昨年11月、念願のアロマスクールをオープンする（JAAの認定加盟校）。
携帯 / 050-3619-3556
携帯MAIL / mire-mina-rei@softbank.ne.jp



「2008年は、活発的に行動した年だった。」と話す高橋明子さんは、3人の娘さんのいるお母さん。チャイルドケアのスクーリングを受講するたびに、共感することが増えこの感動をもっと多くの人に伝えたいという気持ちが膨らんだそうです。しかし、人に伝えることの難しさを知り、どのように段階を踏んでいけばいいのか悩んでいた頃、CC本部にご相談がありました。最初に電話が入ったのは、昨夏でまだ高橋さんが活動を始める前のことでした。その後の半年間の間に、精力的に活動され、そのたびにCC本部にご報告いただきました。

今回は、高橋さんが実践されてきた経緯についてお話を伺い、これから活動を始める皆さんへのエールとしてお伝えしたいと思います。

（聞き手：CC本部 吉村 真美）



サークルを立ち上げて、 精力的に活動しています！

CC本部 短い期間の中で5回ものサークル活動をされたのは、本当に素晴らしいですね！ご自身でサークルを立ち上げたそうですが、何かきっかけがあったのですか？

高橋さん（以下敬称略）そうですね。最初は、知合いの講師の方のお手伝いをするつもりでしたが、その講師の方からの後押しもあり、自らサークルを立ち上げました。ちょっと不安でしたが、「やっちゃえ！！」という勢いもありましたね。

CC本部 CC本部にご相談いただいた頃は、まだ活動をされていなかったようですが、その後はスムーズにいきましか？

高橋 実際、公民館へアプローチしても、なかなか応じてもらえず、どうしたらいいのかと思いました。そこでひらめいたのが、「母」の力だったんです。実母に、サークルの立ち上げに協力してもらい、なんとか公民館側からGOサインをもらうことができました。

CC本部 実践の裏には、心強い協力者がいたのですね。9月には、ベビーマッサージを中心とした活動をされたそうですがいかがでしたか？

高橋 人前で話しをすることが苦手なのでとても緊張しましたが、「楽しかったです」「自宅でやってみます」という言葉をもらえると嬉しいです。

CC本部 毎回、集客されるのは大変だと思いますが、告知はどのようにされていますか？



高橋 ブログを書いているので、そこで簡単な内容をお伝えしています。参加される方も、布オムツを実践されている方やマクロビオティックに興味があるなど、ナチュラル志向の方が多くですね。公民館で行う時は、簡単なチラシを手作りしたりしましたが、やはりブログ効果は高く、見てくださった方がお友達を連れて参加されるケースもあるので、ずいぶん役立っています。これからの課題は、参加された方が継続的に足を運んでくださるために、何をすべきかを考えることです。

CC本部 次の課題ができたのですね。この半年を振り返って何か思うことはありますか？

高橋 自然療法やハーブやアロマを楽しみながら生活に取り入れて、一緒に成長していくことでしょうか。これからは、もっと「心のケア」に目を向けて頑張りたいと思います。

CC本部 最後に、MC会員の皆さんに何かアドバイスはありますか？

高橋 いろいろ葛藤しながらですが、ちょっとずつ前進していることを実感しています。さらに相談したり協力したりできるお友達がいれば、もっと充実すると思っていますので、ぜひ一緒に楽しみませんか？CCCグループも作ってみたいですね。活動を始めたいという方がいらっしゃいましたら、ぜひ声をかけてください。ご連絡お待ちしております。

CC本部 これからのご活躍を心よりお祈りしております。ぜひまたご報告くださいね。

高橋明子さんの2008年6月～12月の活動経緯

- 6月 チャイルドケア・コーディネーターライセンス取得
 8月 経験を積む第一段階として手始めに、自宅にて無料でベビーマッサージを行う。
 9月 自らサークルを立ち上げる。
- 9月10日（水）公民館にて初のサークル活動を行う。
 内容 ベビーマッサージをメインに、アロマクラフト作りやハンドマッサージを行う
 参加人数 3組の親子（お子さん：6ヶ月・4ヶ月）
 参加費 材料費含め1,500円くらい
 時間 お昼までの2時間
- 10月29日（水）公民館にてサークル活動 / 2回目
 内容 ベビーマッサージ・ハンドマッサージ
 参加人数 1組の親子（お子さん：8ヶ月）
 予約されたお2組とも残念ながら欠席でした。
 参加費と時間は前回と同様の設定
- 11月12日（水）公民館にてサークル活動 / 3回目
 内容 ベビーマッサージ・ハンドマッサージ
 参加人数 4組の親子
 （お子さん：2ヶ月～6ヶ月・9ヶ月）
 参加費と時間は前回と同様の設定
- 11月28日（金）自宅にてサークル活動 / 4回目
 内容 ベビーマッサージ・ハンドマッサージ
 参加人数 3組の親子（お子さん：2～3ヶ月）
 参加費 自宅のため2,500円
- 12月15日（月）自宅にてサークル活動 / 5回目
 内容 ベビーマッサージ・ハンドマッサージ
 参加人数 3組の親子（お子さん：3～4ヶ月）
 参加費と前回と同様の設定。さらにお友達と一緒に参加なら割引の特典をプラスする。



本講座は一般的な母子講座と違い、その内容の幅を知ると既婚未婚、老若男女限らず受講されています。その中でも男性の受講生は増えつつあります。男性側からみたチャイルドケアについてお二人の受講生に伺ってみました。

受講生 西岡 真吾さん
(東京都町田市)

チャイルドケアを受講しようと思ったのは、美容師として接客をする中で、女性のお客様でママになる方が増えたことや、男性のお客様との会話の中で、子育ては奥様に任せきりで、たまに手伝うとイライラさせてしまい、何をしたらいいのかわからない等という内容が増えました。そのため、そうしたお話しに共感し、役に立つ情報などを提供してあげたいと思いました。また将来、自分が子どもを持った時に、育児に対して心のゆとりがあれば自信にもつながると思ったのがきっかけです。

テキストでは、『生』について改めて考えさせられ、優しさや温かい気持ちにもなりました。何より『生命の尊さ』に感動し、「自分が存在している」というとても大切なことにも気づきました。今まで周りで携わってくれた方に対しても感謝の念がわき、女性に対して「尊敬」する気持ちも強くなりました。

また、その場面をしっかりと把握してバランスをとって周りと一緒に成長していくこと、会話や触れ合いなど、周り対しての「想い=想われる」「親近感=安心感」をより一層深く意識するようになりました。

今はまだ、様々なことを吸収している段階なので、今の僕なりの思いになりますが、きっかけを見つけたら、親身に受け止めて「知る=知ってもらう」「想い=想われる」を大事にしています。存在価値を確認し合える環境をつくり、将来、子どもやママにとって安心できる素敵なパパになりたいですね。また、日々の仕事の中でも応用し、吸収した分たくさん活用していきたいと思っています。

JAS生 萩原 淳さん
(埼玉県深谷市)

アロマとの出会いは、大学の卒論の資料の中の1つとして勉強したのがきっかけでした。まだまだ人生経験も少ない未熟者ですが、ボランティアという形で子どもたちと触れ合う機会があり、その子たちと過ごしていると、私が過ごした時代とは違ってきていることを知りました。昔に比べ近所付き合いが減っていることが影響していると思いますが、「人の付き合い方」がうまくできない子が増えていることを肌で感じています。それで、男性にしかできないアロマやチャイルドケアがあるのではないかと考えました。

そこで、ボランティア活動のプラスになればと思い、11月にスクーリングのビギナー編に参加しました。講義では、育児をする大人の在り方や、周りの環境・言葉の重要性なども含めたものでしたので、「対、子ども」として考えて接してきた私には新鮮でした。広い視野から捉えていく考えにも、とても興味深かったです。

周囲からは「男なのにそんなことやるの?」とよく言われます。確かに、女性より接点の少ない分野だと思いますが、男性だからこそできるケアもあると思います。きっとそれが自分自身だけでなく周りの人や子どもたちのプラスになると思うので、もっと男性にも興味を持って欲しいと思います。例えば、近所の子どもに挨拶する等、簡単にできることから1人ひとりが意識していけば社会全体が変わるような気がします。男性女性の区別は関係ないと思いますから。

大阪会場でもCCCによる 託児ボランティアが活躍



おかげさまで、CCC託児ボランティアのご協力により、東京、札幌、名古屋に引き続き、去る11月23日（日）大阪会場でのビギナー編でも、託児つきスクーリングを開催することができました。MC会員同士が助け合うことで、託児付きスクーリングが可能になります。今後もCCCのご協力を得ながら託児ボランティアを募っていきます。今後とも積極的なご協力をお待ちしております。

託児ボランティアに入って



CCC 藤野 智子さん

今回、託児ボランティアとして協力させていただいたのは、私の子どもが赤ちゃんの時、預け先がなくスクーリングの参加を断念したことがあったからです。同じ気持ちのお母さんたちのサポートがしたいという思いからでした。午後は、私もスキルアップ講座に参加するため、午前中だけの託児ボランティアをお引き受けしました。

当日は、実家に子どもたちを預け早朝から会場に向かいました。CC本部のスタッフの方と全体の流れや手順や誘導の仕方などを打ち合わせをするので、初めてでも戸惑うことなくできました。託児を利用されるお母さんはお子さんのそばでの受講でしたが、できるだけお母さんがスクーリングに集中できるように配慮しました。当初、3名の託児は大変になると心配しておりましたが、1歳位までのお子さんばかりでしたので、動き回ることも少なく、おもちゃで遊んだり、絵本を読んであげながら、一緒に遊びました。途中で眠たくなり、お母さんが抱っこしなければならぬ状況になりましたが、お母さんにお声をかけながらサポートしました。2時間の託児でしたが、他の受講生の方にも助けられながらの乳幼児の子守りは、私自身も懐かしい気分にもなり、さまざまのタイプのお子さんと触れ合うことで学ぶこともたくさんありました。今後も可能な限り託児ボランティアに入って貴重な体験を積ませていただきたいと思います。

そして1人でも多くのCCCの方が協力し合える関係を

築いて、託児だけに限らず横の繋がりも深めていければいいなと思います。

携帯アドレス：tmtm73@k.vodafone.ne.jp

私たちが、次の大阪会場で託児
ボランティアをします！

6月28日（日）午前のビギナー編のみ



CCC 増田 実佐子さん

こんにちは。前回、藤野さんがボランティアをされた時、一緒に入る予定でしたが、あいにくの体調不良で見送りました。今度は、コンディションを整えてボランティアに入りますので、預けたい方がいらっしゃいましたら直接CC本部までお問い合わせください。当日は、安心してスクーリングに参加できるように託児に専念したいと思います。よろしくお願いいたします。

携帯アドレス：happynews15@docomo.ne.jp



CCC 辻井 好美さん

こんにちは。私は、8歳と5歳の2人の男の子の「かあさん」として毎日奮闘しています。託児ボランティアは初体験ですがお手伝いできることに喜びを感じています。ひとりでも多くの人にスクーリングに参加してもらいたいと思っています。

携帯アドレス：Yoshin0812kota.towa@ezweb.ne.jp

他の会場での託児に関するお問い合わせや同伴を希望される場合には、CC本部までお問い合わせください。

「知る」を「支える」ということ

受講生 河村 幸恵さん

東京都町田市在住。元気いっぱい妹思いの5歳の長女と、食べることで姉の真似が大好きな1歳の次女に囲まれ日々奮闘中です。

園からの帰宅後、毎日恒例のハーブティーを囲んでのおやつタイム。ある日、娘が悲しげにポロっと口にした言葉は、私にとっても衝撃的なものでした。「ママ、今日ね、Aちゃんに“キモい”って言われちゃった……」と言うのです。不思議に思い、詳しく聞いてみると、大好きなお友達のAちゃんにハグとチューをしたようでした。

Aちゃんとは、お弁当の時も外遊びの時も常に一緒にいる、娘にとって一番仲良しの友達です。娘はきっと、家族が日々自然に行っている“スキンシップ”を大好きなAちゃんにもしたら素直に喜んでくれると思ったのでしょう。

その後に、Aちゃんのお母さんとは事情を話して、事なきを得ましたが、娘の気持ちを考えるとかける言葉に少し戸惑いを感じました。「お家ではいつも普通にギューってしているけど、ママが思うには、Aちゃんのお家では特別なことなのかもしれないね。突然だったからびっくりしただけだと思うな。今度からお手紙を書いたり、折り紙を折ってあげたり、きれいな落ち葉をプレゼントしたらどうかな。」と、



“好き”の表現の仕方や、受け取り方に違いがあることを示唆しながら、傷心の彼女をひざに乗せて語りかけるように話し、その日はいつも以上に親子で過ごす時間を大切にしました。

少しずついつもの笑顔に戻る様子を見て、これから、小、中、高……と成長過程でぶつかったり悩んだりしながら多くのことを体験して大きくなっていくのだと、ふと思いました。そして、いくつになっても子どもたちが悩みを打ち

明け話してくれた時は、いつでもこころの受け皿になり勇気（こころの強さ）を認めてあげよう。時には慰め同情し、時には叱咤激励し、親子でさまざまな経験をして乗り越えていこう。いずれ将来、成人した子どもたちが「この家に生まれてきて良かった……」と思える温かみ溢れる空間を大切にしていこうという思いが湧いてきました。

子どもと一緒に笑い、同じ目線にたって体験することの大切さ、楽しさを教えてくれたチャイルドケアをこれからも日々の生活に取り入れていきたいと思っています。

子育てとサロンを楽しんでいます

CCI 飯村 香織さん

埼玉県熊谷市在住。アロマセラピーサロン「Forest-香(コウ)」を開業し、チャイルドケアのマッサージも行っていきます。雑誌「セラピスト」((株)BABジャパン2008年12月号)にてチャイルドケアが少しでも広がればと思いい取材協力をさせていただきました。

はじめまして。私は学校卒業から実家の事務を経て、エアロビクスのインストラクターを5年ほどし、今も継続して13年になる日本舞踊は、東京埼玉を中心に講師活動もしていました。アロマに興味を持ったのはまだ学生の頃。ただ芳香剤の代わりに使用する程度でしたので、アロマコーディネーターやチャイルドケア、さらにはカウンセリング講座を受講するとは思っていませんでした。

その後息子が生まれ、2歳になった頃は、寝るのが早く16時には就寝していましたので、夜は自分の時間がたっぷりとれたのです。そこで何か勉強をしたくなり、たまたまみつけた「アロマ」の文字に魅かれたことがきっかけで、アロマと同時期にチャイルドケアも学び始めました。両方とも面白く約半年で終了しましたが、子どもと一緒に進められることがとても良く、子どもも楽しんで喜んでくれたり、提

出後も見返すとその頃の様子が分かったりと、いい成長記録になっています。

息子は、初めはハーブティーを嫌がっていましたが、お風呂に入れたり、オイルと一緒に作ったり、すっぱいのが好きなのでハイビスカスを飲ませたら、すっかりお気に入りになり「すっぱいの、飲む」と笑顔になりました。その後は、いろいろブレンド変えてみたら、他のハーブも飲めるようになりました。また、ちょうど一昨年前、引っ越しして来た時に、壁のペンキ塗りやポスト等を子どもと一緒に作り、看板も小さいながら手作りです。庭の雑草取りや草花や野菜の収穫などを一緒にすることで親子の仲も深まりました。現在の生活は、親子で築いてきたのだと思います

サロンを開業しようと思ったのは、子育てをしながら働くのには自宅がいいと思ったからです。チャイルドケアのマッサージには、ラベンダー・ティーツリー・カモミールローマンの三種類を使用します。効能を書いた紙にハーブの押し花を挟んだ物と精油をお子さんとお母さんにどれがいいかを決めてもらっています。

サロンに訪れる方には、「手のあたたかさ」を味わっていただきたいと思っています。一人でも多くのお母さんたちに、日頃の疲れを取っていただき、子どもと楽しい生活を送ってもらいたいと思います。



お友達募集

広げようチャイルドケアの輪

チャイルドケアを学んでいるみなさんとの交流を希望している方を紹介します。

CCC 上屋 香さん (大分県大分市) 携帯MAIL: suroorihikaya@docomo.ne.jp



こんにちは。チャイルドケアライセンス、こんな素敵な資格を皆さんはどのように活かしていますか？ 私は、アロマとチャイルドケアを活かした講師活動ができればと思っています。チャイルドケアは子どもだけではなく、実は大人にもすごく大切で大事なことだと感じています。私は子どもがいないので子育てに関するお話はできませんが、学んだこ

とを「こんな風にアレンジしている」「このように工夫している」など、皆さんの活動や情報やこれからの予定などをぜひ教えてください。

積極的に活動をしたいと思っている方、一緒にネットワークを広げましょう！子どもがいなくてもきっと何かできることがあるはずですよ！！

このコーナーの使い方

受講中の方をはじめピーカーブーがお手元に届く全てのMC会員の方が、このコーナーをご利用できます。

例えば.....

スクーリングに参加する機会が持てない方 お住まいの近くで仲間を作りたい方からのメッセージコーナーとして、あるいは、

CCCグループの立ち上げの呼びかけ CCCグループ活動の参加呼びかけ スクーリングの託児ボランティアの呼びかけ JAA主催「親子イベント」開催のためのボランティアスタッフの呼びかけ

などなど、個々で行っているチャイルドケアから、仲間で行うチャイルドケアへ、全国にチャイルドケアの輪を広げていきましょう。随時ピーカーブーに掲載いたします。

投稿方法

下記の内容を記入のうえ写真を添えて、郵送にてご投稿ください。

種別 (受講生 / CCC / CCI) お名前

自己PRとメッセージ (300字以内)

公開可能な範囲の連絡先

(住所、TEL、FAX、携帯、携帯メール、PCメール)

<あて先>

150-0001 東京都渋谷区神宮前1-15-15 原宿佐野ビル2F

日本アロマコーディネーター協会 CC本部「ピーカーブー」係

投稿後、CC本部より掲載についてのご連絡をいたします。連絡可能な連絡先と時間帯をお知らせください。

紙面掲載の最終確認をしていただき、ピーカーブーが届くのをお待ちください。

次号ピーカーブー (6月発行) の投稿締切 / 2009年5月11日 (月) まで

締切以降の応募は、次々号 (10月発行) の掲載になります。

親子イベント開催中止のお知らせ

3月28日 (土) に予定していた名古屋での親子イベントは、開催人数に達しないため、残念ながら中止となりました。既に申し込みをされ心待ちにされていた皆さまへは心よりお詫び申し上げます。JAA主催としては中止となりましたが、発起人のCCI加藤さんより新たに提案いただきました。

加藤 佐江子さん (岐阜県関市)

連絡先 / 携帯MAIL: saeko_kato@c.vodafone.ne.jp

皆さんこんにちは。前号で告知させていただきましたが、今回中止は本当に残念に思います。ただ以前より数人のメンバーでいろいろな案を出し合ってきましたので、まずは私たちだけでやってみよう

と思っています。日程を改め、開催が決定次第、チャイルドケアHP内BBSでお知らせします。また、企画から一緒に考えてくださる方、場所を提供してくださる方など、ぜひお声をかけてください。

表現 & 感性をみがこう！ 言葉遊びのワークショップ開催！

3/31 /tue

今回は、チャイルドケアをより深く、多岐にわたって理解いただくためのひとつとして、体験を通して学ぶワークショップを企画しました。

本講座のチャイルドケアのコンセプトの中では、「言葉」を大切にすることを挙げています。具体的にどのようなことが大切なのかということ、ただ文字にして理論的に語っても、理解いただくことは難しいと思います。そこで体験を通し、感性と心を十分感じ「言葉の力」の理解を深めます。

昨今のコミュニケーション希薄化は、今や社会だけに限らず親子関係にも影響しています。本講座内でも、「友達ができない」「仲間がいない」と悩まれている方、あるいは、CCCの資格をとっても、なかなか上手に

伝えることができないという声が多く聞かれます。これらはコミュニケーションが低下し、気持ちを伝えることが上手にできなくなっているといえます。どんなに知識があっても表現力を持たなければ、他者に伝えることは難しいものです。そこで、今回は、「言葉」の表現力を遊びやワークを通して一緒に考えてみませんか？ それぞれの感性が豊かになってゆく時間を楽しみたいと思っています。

(講師 松本美佳)

日時 2009年3月31日(火)

13:00~15:00

会場 東京 カルチャーキューブ
渋谷校

対象年齢 高学年~大人まで

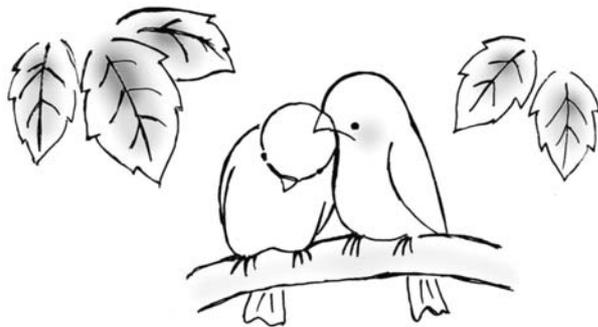
定員 30名

費用 3,000円

MC会員(受講生含む)または、その家族(高学年以上)。ご家族の方の参加費用は、1,500円/人です。

申込締切 3月5日(木)厳守

開催人数に満たない場合には、開催中止となります。



スキルアップ & 特別スクーリングの開催について

現在、スキルアップ講座として年2回会場では、テキストの7章を全3回にわけて、開催しておりますが、年1回会場では、時間を少し長めにとり前編、後編と全2回に分けて開催しております。全3回と全2回とでは内容、受講費に変更がありますことをご了承ください。

尚、開催の詳細は16頁に掲載しておりますのでご覧ください。

年1回の定期開催会場は、「ぜひ、自宅に近い地域でも

スクーリングを開催してほしい」という声が集まり、特別開催された結果、大変ご好評いただき定期開催会場に追加されました。

その他の開催地域に関しては、随時皆さんからのご要望で、特別スクーリングを企画していきます。ご希望があればお知らせください。

ただし、開催人数に満たず中止になった会場は、定期開催会場から外れる場合があります。

今年度より CCI養成講習会を 開催します！

CCIをはじめ、CCIを目指す方向けの本講座を指導するための講習会を新たに開催します。

2007年より本講座の普及に努めるべく活動をしていただくためのCCI制度を発足させました。CCIに限らず、CCCの中でも指導者を目指す声が多くあります。しかし、実際に指導者となると、多くの不安の声が寄せられるようになりました。

CCIとして活動するには、経験が少なく自信が持てない

CCIとして、企画提案の方法がわからない

CCIとしてもっと学びを深めたい
そこで、本講座の内容をより深め、普及するにあたり具体的な実践方法や応用周辺を学習する講習会を設けることにいたしました。また、CCI、CCC 同志の交流を図り、意見や情報交換をする場として、本講座の普及を担う意識作りを図ります。

本部講師である松本美佳先生から、直接CCIとしての活動のノウ

ハウをご指導いただきます。また、講義だけではなく、具体的な実践、実習を交えながら、スクーリングとは違った内容を展開する予定です。また、CCIの受験に対応したレクチャーも含まれます。

CCIをすでに取得されている方は、できるだけご参加ください。CCIを今後目指そうとするCCCの方を基本対象とします。詳細が決まり次第ご案内します。

(下半期開催予定)

本部講師より

本講座の内容を把握し、共通理解と同じ意志を持って普及してくださる仲間として、CCIを設けました。共通理解ができる仲間と互いに向上し合える時がきたことを、本当に心待ちしていました。スクーリングでは、はじめてお会いする受講生の方が多く、なかなかチャイルドケアの内容を深めるところまでいくことができませんでした。受講される方のスキルの差が生じ、意見交換が難しかったのです。この講習会では、CCIを目指そうとする強い志を持った方が、本講座をさらに深め、さ

らに愛着をもっていただくための提案をしていきたいと思っています。

私の代わりにこの愛すべきチャイルドケアをぜひ、多くの方にお伝えいただくために、この講習会を設けていただきました。ぜひ、一日ともに学び、チャイルドケアの仲間としての絆を深める時間としたいと思っています。定期開催していくことで、CCIメンバーの集いの場であり、チャイルドケアの軸を担っていく場となることを願っています。

(松本美佳)



スクーリング参加者の「声」

2008年の下半期スクーリングでは、定期開催の東京（2回）、大阪、名古屋で開催し、ビギナー編、スキルアップ編で延べ141名の方が参加されました。参加された皆さんからのアンケートより、「声」を抜粋しました。まだスクーリングに参加されていない方は、ぜひこの思いを共感してみませんか？託児付きの会場も増えています。ぜひ、足を運んでください。
(尚、福岡会場は、開催人数に達しなかったために中止となりました。)

スクーリングの感想 アンケートより一部抜粋、編集

<ビギナー編>

先生の体験談は自分に置き変えて考えることができました／頑張りすぎないで楽しむことが大切だと思いました／子育てがとても楽しみになりました／前回とはまた違った角度からお話しが伺えて良かったです／テキストを読むだけだったのと、先生のお話を直接お聞きするのは、心に入ってくる深さが全然違いました。日々の忙しさのせいで大切なことを適当にしていることを痛感しました／いろいろなケアがありますが、技法ややり方が大切なのではなく、「子どもの心にふれることが大切」だとわかりました／形だけにとら

われていた自分に気づかされました／自分の育児、出産の時の思いなど初心を思い出して肩が軽くなった気持ちでした

<スキルアップ編>

全3回というコースでとても分りやすく、毎回とても楽しみです／頭でっかちにならず、心で動きたいと思います／押し付けにならないアロマ生活を送りたいと思いました／ビギナー編よりまた一步踏み込んで、ハーブの説明が分りやすく実体験に基づいていて印象的でした／実習も皆さんとできて楽しかったです

CCIライセンス認定試験の実施について

2007年の秋、第1回CCIライセンス認定試験を導入してから、早1年半が経過しようとしています。既にご受験された皆さまにおかれましては、心より感謝申し上げます。

従来は年2回、東京と大阪の二会場での試験会場で実施しておりました。しかし試験のために遠方から足を運ぶことが困難であることや、受験者とCC本部との考える視点や捉え方に誤差が生じる点、既にCCIになられた方もCC本部との連携活動はこれから等、様々な現況があります。

そこで、今年度よりCCIライセンス認定試験の実施については年1回とさせていただきます。CCIの育成活動にも力を入れることと同時に、CCIを目指す方へのサポート体制を整えることとなりました。(詳細はP.14)

第4回CCIライセンス認定試験 日程とスケジュール

希望者は、下記の日程で受験手続きを進めてください。尚、試験資格、試験内容等は、ガイドブックを参照ください。

受験手続きと受験の流れ

ガイドブック最終ページ「受験願書請求用紙」を手続き期間中にFAXします。(郵送可)

願書到着後、締切日までに手続きを行ってください。

協会より、筆記試験の問題用紙と面接試験の詳細を指定日郵便にて送付いたします。

筆記試験と企画書は、提出締切日までにご返送ください。

面接試験は、指定会場にお越しください。

面接試験 日程・会場

東京 6月21日(日) 17:00開始予定
(スクーリング終了後)

カルチャーキューブ渋谷校

大阪 6月28日(日) 17:00開始予定(スクーリング終了後)

カルチャーキューブ心齋橋校

受験料 21,000円(認定料含む)

合格発表

各会場とも面接試験日の約1ヵ月後。合格者には認定証及びCCI規約を送付いたします。

	東京での面接試験の場合	大阪での面接試験の場合
受験願書 請求期間	4月1日(水)～4月30日(木)まで	同様
受験手続き 締切日	5月1日(金) 厳守	5月8日(金) 厳守
筆記試験問題 自宅到着日	5月8日(金)	5月15日(金)
筆記試験・企画書 提出締切	5月25日(月)	6月1日(月)

スクーリング情報

2009年 上半期スケジュール

< 定期開催 >

年2回会場

名古屋 3月20日(祝・金)

東京 4月21日(火) 6月21日(日)

福岡 4月26日(日)

福岡は、上半期の開催状況により年1回になります。

大阪 6月14日(日)

年1回会場

仙台 7月20日(祝・月)

札幌 8月2日(日)

【ビギナー編】 10:00~12:00

費用 MC会員 / 3,000円

JAA正会員 / 4,000円

一般 / 5,000円

講師 松本 美佳

チャイルドケアで伝えたい「7つの基本コンセプト」を中心とした講義で、受講中の方や、これから受講を始める方にもお勧め

です。基本概念をしっかり習得するために、何度も参加することができます。

【スキルアップ編】

本講座の監修を務める松本安彦先生を招き、第6~7章(年1回会場は第5~7章)を深めます。

対象者

MC会員

ビギナー編参加者

ガイドブック購入者

当日または事前に購入ください。

講師

松本美佳 松本安彦

年2回会場

時間 13:30~16:30

費用 4,500円(材料費込み)

年1回会場

時間 13:30~17:00

費用 5,500円(材料費込み)

【スクーリング規定事項】

全会場とも参加者が20名に満たない場合は、開催されないことがあります。開催の可否については、開催日の2週間前に最終決定しますが、開催間際の申し込みは避け、できるだけお早めにお申し込みください。

東京会場以外での平日開催は、多数の要望及び今年1年間の参加状況によって検討いたします。

【申し込み及びキャンセルについて】

申し込みはお電話にて承ります。申し込み時には、会員番号(受講生番号)が必要となります。

スクーリング費用は、電話申し込み当日が翌日までに、JAA指定口座へご送金ください。また、振込時には、お名前の前に必ず数字の「2」(判別ナンバー)をお書き添えください。

申し込み後にキャンセルする場合は、各会場開催日の1週間前(土・日・祝日、他事務局休業日除く)までにご連絡ください。なお、開催日の1週間以内のキャンセルは、費用の返金はできません。予めご了承ください。

開催日当日のお申し込みはできません。

【託児について】

全会場とも同室内での託児を推進しています。託児は、CCC有志によって成り立っております。託児の利用を希望される方は、まずは、託児が可能であるかをCC本部にご確認ください。各会場とも開催日より1ヶ月前の時点で決定します。

託児ボランティアに際しては、ガイドラインを目安に行っていただきます。場合により、ご自分のお子さんと同様しながらボランティアに入ることも可能です。

また、託児がない場合、お子さんの年齢が託児を必要としないなど状況により隣席で参加することも可能です。お気軽にご希望をお問い合わせください。

< 託児ボランティアの条件 >

・ CCCの方

・ 同内容のスクーリングを過去に1回以上参加していること

託児ボランティアを希望する方は、各会場開催日の1ヶ月前までにお申し出ください。随時募集しております!

【申し込み窓口】 日本アロマコーディネーター協会

TEL/03-5413-1260 お電話にて申込み後、参加費用を下記の口座へお振込みください。

三菱東京UFJ銀行 池袋東口支店 普通 1920305 日本アロマコーディネーター協会

ゆうちょ銀行 00170-4-122869 日本アロマコーディネーター協会



チャイルドケア・コーディネーターライセンス取得
おめでとう
ございます!

新たに CCCになられた皆さんです。今後の更なるご活躍を心よりお祈りしています。

大澤加奈子 / 塚田悦子 / 乾香代子 / 久保留美 / 新井智恵 / 鈴木由香 / 基山佳世子 / 立花裕香 / 藤原美紀恵 / 武藤博子 / 吉田亜紀 / 上屋香 / 佐野美佐子 / 飯塚亜希 / 原田由加利 / 能勢愛 / 日高明子 / 田代寿子 / 飯田智子 / 大森初美 / 半田ゆかり / 山崎珠枝 / 樋口由子 / 楠本恵子 / 高柳久美子 / 山本幸代 / 尾崎陽子 / 西村順子 / 堤陽子 / 立野麗子 / 原田愛美 / 橋本有佳子 / 江頭祥子 / 橋本ゆかり / 井出綾子 / 植野睦代 / 大橋美和子 / 原野純好 / 村田千佳子 / 清水史恵 / 大久保和江 / 名畑目悦子 / 山口弘子 / 浜本友美 / 川野佳美 / 竹内友枝 / 近藤明子 / 井上 富美江 / 石田紀慧 / 齋藤裕美 / 吉田文枝 / 矢澤美幸 / 宇佐美直子 / 上森周子 / 志村玲子 / 吉田摩利子 / 福代由起子 / 伊藤貴久子 / 徳留久乃 / 今野聡子 / 本田 治子 / 飯田真弓 / 石原真由美 / 前田やよい / 杉原智美

(敬称略 / 2008.10/15 ~ 2009.2/1付 45名)

MC会員の更新手続き

下記の受講番号に該当する方は、今後のレポート提出にはMC会員の更新が必要となります。(更新手続き書類10月上旬郵送)なお、更新希望をされない場合は、次号より本誌ピーカープーのお届けもストップします。予めご了承ください。

受講番号(最初の5桁)

AC07-1 / AC07-2 / AC07-3 / AC07-4 / AG07-1 / AG07-2 / AG07-3 / AG07-4 / AL07-2 / AL07-3 / AL07-4 / C008-1 / C008-2 / C008-3 / C008-4

本誌面作成で特にご協力いただいた方へは、感謝の気持ちを込めてプレゼントを贈呈させていただきます。

日本アロマコーディネーター協会
チャイルドケア本部

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-15-15 原宿佐野ビル2F

TEL . 03-5413-1260 FAX . 03-5413-7080

E-mail: info@childcare-jp.com URL: www.childcare-jp.com/

MC会員専用ページのご利用には、IDとパスワードの入力が必要です。

MC会員専用ページ ログインID / CC パスワード / mckaiin ログインIDが新しくなりました。